

あしきた町議会だより



うたせ

第10号

平成19年
7月31日発行



- 6月定例議会…………… P2
- 第4回臨時議会…………… P3
- 一般質問…………… P4～6
- 視察研修報告 総務常任委員会…………… P7
- 建設経済常任委員会… P8
- 文教厚生常任委員会… P9
- 就任報告(県議長会副会長他) …… P10

第5回 大野温泉
どろんこドッチボール大会(6月24日)

陳情9件を委員会へ付託

件名	陳情者	付託先
芦北町総合グラウンドの早期改修に関する陳情	芦北町陸上競技協会会長 内田喜一氏 外3名	文教厚生常任委員会
多目的芝広場設置に関する陳情	代表者 芦北町グラウンドゴルフ協会 坂口義人氏 外1,810名	文教厚生常任委員会
古石地区生涯学習センター「古石交流館みどりの里」シャワー棟設置について	芦北町古石地区代表 古石北地区長(古石緑創会長) 宮島正文氏 外2名	文教厚生常任委員会
県道芦北坂本線の部分改良について	横居木区長 福島松男 外8名	建設経済常任委員会
しろやまスカイドームのサブ体育館建設等に関する要望書	代表者 芦北町(郡)バドミントン協会 会長 馬城隆吉氏 外2名	文教厚生常任委員会
芦北町総合グラウンドの早期改修に関する要望書	葦北郡軟式野球連盟会長 古村逸男氏 外1名 署名212名	文教厚生常任委員会
サブ体育館建設に関する陳情書	葦北郡空手道連盟会長 井川良一氏 外3名	文教厚生常任委員会
相撲場建設に関する陳情書	芦北町相撲協会会長 林田孝敏氏 外33名 署名203名	文教厚生常任委員会
芦北町総合グラウンド改修に伴う体育館の新設に関する陳情書	芦北町ビーチボールバレー協会 会長 篠原紀男氏	文教厚生常任委員会



6月定例議会は、6月20日に招集され、21日までの2日間の会期で開催した。上程されたのは、専決処分の承認3件、報告5件、平成19年度一般会計補正予算ほか特別会計補正予算3件、条例の一部改正6件、町道の路線認定など4件と、人事関係で監査委員の選任同意1件、人権擁護委員の推薦についての諮問1件で、いずれも慎重審議の結果、原案通り可決した。また、多目的芝広場設置に関する陳情など9件の陳情については所管の委員会に付託した。

一般質問には3議員が登壇し、執行部の考えをたずねた。

6月定例議会

補正予算を可決

平成19年度一般会計及び特別会計の補正予算を可決した。

会計名	補正額(増減)	補正後の総額
一般会計	1億2,623万円増	97億3,523万円
国民健康保険特別会計	31万円増	31億1,131万円
老人保健特別会計	3,318万円増	29億6,398万円
町有温泉特別会計	164万円増	1億364万円

- 補正予算のおもな内容(一般会計)
- ・ オフトーク通信設備撤去委託料…………… 535万円減額
 - ・ 民放テレビ難視聴解消施設工事請負費…… 584万円
 - ・ 海浦漁港調査業務委託料…………… 597万円
 - ・ 土地購入費(小田浦小学校用地) …………… 8,781万円

人事

監査委員(有識者)



山下 生吾氏
(白岩地区)

プロフィール

平成3年から平成18年まで芦北町議会議員として活躍され、その間の5年2ヶ月、議会代表の監査委員を歴任。

人権擁護委員



梅田 安子氏
(花岡地区)

プロフィール

平成13年から法務大臣に人権擁護委員として委嘱され今回三期目となる。

第4回臨時議会

小田浦小学校用地を買収

平成19年第4回臨時議会を7月10日に開催した。上程された議案は、土地の取得についての1件で、芦北町立小田浦小学校用地を8,781万円で買収するもの。地積(面積)は、13,509平方メートル。審議の結果、原案通り可決した。



一般質問

防災行政無線の 供用開始は



川尻議員

質 現在、この事業の工事進捗状況はどのようなものか。

答 昨年度当初予算の中に5億4,300万円の防災行政無線施設工事請負費予算等を措置したのに、入札が遅れ、12月1日に行われ、12月22日の本会議で議決された。その前の11月24日の町長からの申し入れによる全員協議会の中で、電波法等による許可の遅れにより、入札業務が遅れたと説明があった。今後、事業のスケジュールとして19年1月6月工事、7月初旬供用開始予定との報告を受けた。

答 昨年度当初予算の中に5億4,300万円の防災行政無線施設工事請負費予算等を措置したのに、入札が遅れ、12月1日に行われ、12月22日の本会議で議決された。その前の11月24日の町長からの申し入れによる全員協議会の中で、電波法等による許可の遅れにより、入札業務が遅れたと説明があった。今後、事業のスケジュールとして19年1月6月工事、7月初旬供用開始予定との報告を受けた。



個別受信機

このような中であって、四月下旬に総務省が、整備費用低減のため規制緩和を行うとの方針が示され、回線設計の見直しと整備費用の面から検討し、より信頼性の高い防災行政無線システムを構築する準備を進めている。



防災行政無線放送室(田浦基幹支所)

質 議会に対し報告がないまま6月に入ったが、七月初旬に供用開始できるのか。

答 町長 供用開始については、説明した防災無線局の審査基準の一部改正が8月1日付の施行になることにより、七月供用開始は困難な状況にあり、本年度中の供用開始を目指すこととしている。

一般質問

芦北町の環境問題への 積極的な取り組みを



宮島議員



水とみどり豊かな古石地区

先に、ドイツで開かれたサミットでは、環境問題が中心テーマで、特に地球温暖化への対策が、喫緊の課題として討議された。国内でも広く環境問題への関心は高まり、大きくクローズアップされてきており、いろいろな課題が山積している。

質 芦北町古石地区にある「産廃中間処理施設」とヒノキの立ち枯れとの因果関係、土壌・水質などの調査を通じて、説明に向けてどう対処してきたか。さらに、今後どう対処するのか。

答 町長 県に対し、原因究明の調査を強く働きかけており、業者に対し施設の改善要望を行ってきた。今後同じ方針で進める。

質 環境問題解決のためには、住民の意識改革が必要である。芦北町として、どのように取り組んでいるのか。

答 町長 快適な環境の創造のため、環境基本条例を制定し、町環境審議会の中で、意見を聞き環境政策に反映させる取り組みを行っている。

質 環境問題解決のために、ボランティア活動を活用する考えはないか。

答 町長 町内の各所において、環境意識の強い方々や団体があり、清掃や花植え等の活動をされ、環境保全活動の輪が広まればと思っており、直接、御礼を励を行っている。

質 学校教育(幼・小・中学校)における環境教育指導の基本的な考え方を、どのように指導しているか。

答 教育委員長 地球環境の中で、より良い環境を創造し、循環型の社会を築いていくため、主体的に積極的に行動する人間を育てる事が



ヒノキの立ち枯れと産廃中間処理施設

基本的な考え方と思う。各学校にて、学校環境ISOがあり、色々な調査研究をし環境にやさしい学校づくりに努力しているところである。



寺本順一議員

一般質問

行政改革の 取り組みについて

今年2月20日の熊日新聞報道によると、市町村を対象に国土交通省が実施した将来推計人口調査では、水俣芦北地域は2030年には41・9%減少する旨の調査結果が出ている。

町の財政は、今年度予算においては96億円と前年より12億円のマイナス予算で、23年後には80億円規模の予算が予想されている。

また、先に公表された、芦北町財政状況の公表によると、経常収支比率92・1%（類似団体指数85・7%）公債費負担比率17・5%（15%が警戒、20%以上が危険ライン）で、財政構造の硬直化が徐々に始まっているようである。

平成18年3月に公表された芦北町行政改革大綱では

- 一、町民視点の改革
 - 二、財政の改革
 - 三、事務事業の改革
 - 四、組織体制の改革
 - 五、職員の意識改革
- の5項目からなっている。更に大綱では人件費の抑制及び民間活力の有効利

用による効率化を図るため、施設の指定管理者制度等への移行及び業務委託を進めるようになって

質

これまでの直営施設の管理委託の状況は、今後も含めどうなっているのか。

答 町長

本町には84の施設があり、そのうち平成18年4月から7施設が指定管理者制度に移行しており、直営施設は77施設である。このうちすべて直営で運営をしているのは、総合グラウンドなど14施設、清掃などの一部管理委託を行っている施設は、湯浦温泉観光センターなど14施設、処理場の運転管理やマンホール点検など業務の一部または、すべてを委託している施設は25施設となっている。今後も各施設の利用形態等を勘案して効率的な施設の管理運営を図って行く。

質

現在、直営方式で職員を配置している施設について指定管理者制度等に移行し管理する考えはないか。

答 町長

職員を配置している施

教育費の備品購入予算について

お願いしたい。

質

平成19年度において佐敷小学校に机、椅子を新しく買替するが、老朽化による買替なのか。

答 教育長

老朽化による買替ではない。木の温もり、木の香りが情緒不安定、疲れ、ストレス等の解消機能があるため導入する。

質

物を大事にすること、辛抱して使う事は教育指導の中でも大事なことである。町民の血税をいかに有効に使うか、住民の視線にたった行政運営を



答 教育長

子どもたちの情緒を豊かなものに、また先生方の教育環境の整備ということもあり、御理解いただきたい。

総務常任委員会視察研修報告

5月28日～5月30日

大潟村情報発信者 入村事業の取り組みについて

秋田県大潟村

5月28日秋田県大潟村の大潟村情報発信者入村事業の取り組みについての研修を行いました。

当日は、大潟村役場において、大潟村の紹介ビデオを見せてもらった後、大潟村の歴史及び現状と本事業の概要全般について詳しく説明していただきました。

大潟村は、日本第二の湖「八郎潟」を干拓してできた緑豊かな広大な大地に生まれ変わった村で、日本のモデル農村として人と自然にやさしい農業に取り組みされてきました。が、近年農業を取り巻く社会情勢が厳しさを増すなか、村は創意と工夫を持って新たな村づくりの取り組みとして芸術、文

化、スポーツのほか様々な分野で活動し、広く内外に情報を発信する人達を村外から受け入れ、村の活性化を図る目的に本事業を実施しているというところであります。情報発信者に認定されると、宅地は無償貸与され、その後2年以内に自己負担により住宅を建築し、村に年6ヶ月以上住所を有し且つ年3ヶ月以上居住しなければならぬという条件であります。また、住宅を建築し7年間居住すると宅地の無償譲渡等の奨励措置があり、これまでプロのスポーツ選手など12名が入村しているという事です。しかし、入村者と村民との交流が少ないなどの

問題もあり、今後の対策として入村者に生涯学習講座の講師をしてもらうなどして村内で活動する場を設け交流を深めることにより少しずつ地域に溶け込んでもらえれば本事業の大きな成果につ



ながるのではないかといいことであります。

武家屋敷景観形成事業について

秋田県仙北市

30日の研修は、仙北市議会事務局にも同行いただき、角館町榊細工伝承館において、武家屋敷景観形成事業の概要について説明を受けた後、武家屋敷周辺の視察を行いました。仙北市は、平成17年9月20日に田沢湖町、角館町、西木村の旧3町村が合併し誕生した町で、人口約31,800人の秋田県の東部に位置し、角館地区は、秋田県のほぼ

中央にある城下町で、東北の小京都と呼ぶにふさわしい風情を、町全体に漂わせた桜の名所でもあります。この武家屋敷周辺地域は、昭和51年に文化庁から「重要伝統的建造物群保存地区」として国の文化財の選定を受けています。私たちが研修した「武家屋敷景観形成事業」は、仙北市歴史的景観条例に基づき、建築物、工作物、広告物、植栽、景



観形成活動等に対して、限度額100万円未満、補助対象経費の30%、50%の補助率の範囲内で、環境保全活動に対し幅広く支援を行うということでした。現在までの事業数は、合併後間もないということもあり、外堀工事の1件（補助額10万円）のみでありましたが、今年度が本格的な本事業の取り組みになり今後、仙北市の大きな柱になっていくだろうということです。活気あるまちをつくるには、そこに住む住民の町に対する思いが最も重要であり、そうした思いと実践が魅力的なまちづくりにつながるということを実感した研修でありました。

建設経済常任委員会視察研修報告

4月16日～4月18日

建設経済常任委員会では、平成19年4月16日から18日にかけて、大阪市中央御売市場（デコポンの販売状況について）、南大阪食肉市場（芦北牛の出荷販売状況について）を視察しましたので、その内容について報告します。

大阪中央御売市場 芦北産デコポン販 売状況について



デコポンのセリ状況

大果大阪青果（株）（田中常務）と、JA熊本果実連大坂事務所（満田所長）から、デコポンの販売状況について説明を受けました。

① 芦北産デコポンは、ずば抜けた品質を誇り、ブランドとして高い評価を受けていますが、近年いくつかの問題点が出ており、②ブランドが危機的状況にあります。

③ 当市場に出荷される数量が減少傾向にあり、デコポン全体の対前年比66パーセント、露地のみでは46パーセントまで落ち込んでいる。

④ 今後は安定した数量を計画的に出荷しないと、他県産に入り込む余地を与えることになる。

⑤ 芦北産デコポンは、大玉が多すぎる。現在、大玉は高値で取り引きされているが、消費者は大玉を求めてはいない。需要と供給のバランスが大切で

南大阪食肉市場

南大阪食肉市場内では、北田産業（株）（北田社長・熊本県経済連（飯田畜産部長）から、芦北牛の出荷販売について説明を受けました。

初出荷から20年が経過しますが、最初の頃は他産地と比較しても品質が悪く批判も受けていたが、今日では、生産者と関係者各位の努力により



たが、生産者も事の重大さを認識し意識改革が必要であると印象を受けました。

すが、今後活発な活動等を行っていきば県産牛の人気は上がるものと思えます。

当日は「第17回熊本県経済連枝肉牛共励会」が開催され、全出品された中で、芦北牛は金賞と銅賞に輝きました。金賞の牛は枝重85.2kgで販売価格が、169万5,121円と群を抜いて高値で落札され、市場での人気の高さを知りました。

芦北牛については、品質もよく市場の評価も高いので、さらなる努力を期待します。



枝肉の品評風景

文教厚生常任委員会視察研修報告

5月28日～5月30日

認定こども園制度の 取組みについて

香川県高松市牟礼町はらこどもセンター

5月29日、高松市牟礼町のはらこどもセンターの認定こども園制度の取組み状況についての研修を行いました。

教育委員会、福祉課及び幼稚園代表者、保育所代表者により幼児一元化についての話し合いが持たれていました。

当日は、高松市議会事務局に同行いただき、目的の地のはらこどもセンターで、平成17年度総合施設モデル事業実施園としての取組みである幼児一元化施設の概要、事業概要、事業費及び財源内訳、児童数及び職員数やこれまでの経緯について詳しく説明があり、その後、センター内の視察を行いました。

また、平成17年4月に総合施設モデル事業の指定を受けて、総合施設モデル事業推進委員会を立ち上げ協議が行われる中、平成18年1月高松市と合併し、はらこどもセンターとしてスタートし、開設時に作成されていた幼稚園教育課程や保育園指導計画を見直し、「はらこどもセンター生活プラン」の完成に至ったとの説明がありました。その後、本センターは平成14年4月より幼児一元化施設

設として開設され、幼稚園・保育所と区別することなくティーム保育のもと、就学前教育を進めている状況でした。



幼保公民館複合施設 建設について

岡山県井原市西江原町西江原幼保複合施設

30日の研修は、井原市役所会議室で西江原幼稚園・保育園・公民館複合施設の経緯と取組みについて認定こども園の取組みについて、各担当から説明を受けた後、現地視察を行いました。

次長がプロジェクトを使い、井原市の予算や概要、西江原幼保複合施設建設の目的及び経緯等について詳しく丁寧に説明があり、私達の研修目的を満足させる内容でした。現地視察についても、素晴らしい内容であり、



議会のうごき

- 3月30日 県議長会定期総会における各郡提出
案件の県当局等への実行運動
- 4月11日 熊本県町村議長会第1回理事会
16日 町有林安全祈願祭
16日 建設経済常任委員会視察研修(18日まで)
- 5月 1日 水俣病犠牲者慰霊祭
21日 第32回町村議会議長・副議長研修会(23日まで)
26日 2007御立岬ビーチサッカーフェスティバル
28日 南九州西回り自動車道熊本県建設促進期成会総会
28日 総務常任委員会視察研修(30日まで)
28日 文教厚生常任委員会視察研修(30日まで)
29日 水俣芦北振興財団理事会
29日 熊本県町村議長会第2回理事会
- 6月14日 議会運営委員会
14日 町村議会議長会臨時総会
15日 東海カーボン(株)増設工事起工式
20日 定例議会(一般質問)
21日 定例議会(議案審議)
25日 水俣芦北広域行政事務組合臨時議会
- 7月 2日 文教厚生常任委員会
5日 南九州西回り自動車道の早期実現に係る要望活動
8日 第20回ビーチバレーインくまもと大会
10日 臨時議会
18日 町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会
20日 企業誘致関係表敬訪問
27日 関係省庁及び国会議員に対する
前期要望活動



藤井公明議長

藤井議長が県町村議会議長会副会長及び
水俣芦北広域行政事務組合議会議長に就任

藤井公明議長が6月14
日開会の県町村議会議長
会臨時総会で、県町村議
会議長会副会長に就任さ

れました。
また、6月25日開会の
水俣芦北広域行政事務組
合の臨時会で議長に就任
されました。
芦北町にとっても大変
名誉なことであり、今後
ますますのご活躍を期待
いたします。

議会傍聴に 是非おいで下さい。

次回の定例会は9月中旬の予定です。



6月定例会

編集後記

梅雨の季節を迎え、全国
各地で豪雨による土砂災害
等が発生している状況にあ
ります。県内では、上益城
郡美里町で豪雨により被害
が発生し、避難生活が続き
住民への不安を与えました。
芦北町でもいつ災害が
発生するか解らない状況で
す。あらゆる災害に万全を
期し町民生活の安全を守る
目的のため、芦北町地域防
災計画を作成し、災害が発
生した場合に対処できるよ
うに計画してあります。

災害が発生した時は役場
に連絡を取り、区長さんを
始め消防団の方、世話人の
方々と連絡を密にし、万全
を期す事が大事であり、災
害が発生した場合、地区の
避難場所等を再確認してお
く事だと思えます。「生
命、財産を守るため」(古村)

議会広報特別委員会

委員長	元山 秀志
副委員長	前田 徹一
委員	宮尾 秀行
宮島 康浩	
白坂 逸男	
古村 逸男	
寺本 順一	

